

第20回建設業経理士検定試験 1級原価計算

【第1問】 解答にあたっては、それぞれ200字以内（句読点を含む）で記入すること。

問1

事前原価計算とは、生産行為の開始前における原価の測定計算であり、見積原価計算、予算原価計算および標準原価計算がある。そのうち経常的に実施される事前原価計算としては、原価計算制度の対象となる予算原価計算および標準原価計算である。予算原価計算とは、受注した工事に確実に採算化するための内部的な原価算定のことであり、標準原価計算とは、個々の工事を日常的に管理するための能率水準としての原価算定のことである。
--

問2

機会原価とは、特定の代替案を採択することによって犠牲となる経済的資源を他の代替案にふり向けたならば得られたはずの最大の利益額、すなわち最大の逸失利益額をもって、その代替案の原価を把握するものである。一方、支出原価とは、犠牲にされる経済的資源を、それらの取得のために支払った現金支出額によって測定した原価のことである。両者の違いは、機会原価は現実の現金支出額を伴わないが、支出原価はそれを伴う点にある。
--

【第2問】

記号（ア～ソ）

1	2	3	4	5	6	7
キ	イ	コ	ク	ス	ソ	エ

【第3問】

第1年度末 千円

第2年度末 千円

第3年度末 千円

第20回建設業経理士検定試験 1級原価計算

〔第4問〕

- 問1 ¥ 300,000
- 問2 ¥ 1,070,000
- 問3 ¥ 104,664 記号（AまたはB） A

〔第5問〕

問1

完成工事原価報告書	
自 平成×7年6月1日	
至 平成×7年6月30日	
佐賀建設工業株式会社	
(単位：円)	
I. 材料費	874,400
II. 労務費	741,650
(うち労務外注費 359,150)	
III. 外注費	377,010
IV. 経 費	479,120
(うち人件費 283,360)	
完成工事原価	2,472,180

問2

¥ 818,275

問3

- ① 賃率差異 ¥ 1,635 記号（AまたはB） A
- ② 重機械部門費予算差異 ¥ 2,350 記号（同 上） A
- ③ 重機械部門費操業度差異 ¥ 1,350 記号（同 上） A